

国 語 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は十九ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
3. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合して確認すること。
4. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
6. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
7. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
8. 文字は楷書で正確に書くこと。
9. 解答用紙は持ちかえらないこと。
10. この問題用紙は必ず持ちかえること。
11. 試験時間は六十分である。

(マークの記入例)

良い例	悪い例
	

(一) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

実はこの原稿を引き受けてから、はたと困った。果たして私は日本の「現状」を嘆くべきか「理想」を描くべきなのか。そもそも現代日本に「大人」は存在するのか、しないとすれば、なぜ存在しないかを書くべきなのか。

とりあえず持論を述べておけば、私は「社会の成熟度と個人の成熟度は反比例する」と確信している。わかりやすく言えば、社会が成長発展し、インフラが整備されて暮らしやすく豊かな社会になればなるほど、^A大人になれない個人が増える、というほどの意味だ。

実際、この現象は、どの先進諸国にも共通して起こっている。これにはいくつか理由があるが、最大のものは、やはり教育期間が延長されることだろう。

現代においては多くの青少年が、しばしば三〇歳近くなるまで、親からの経済的支援を受けつつ、あるいは親と同居しながら、学生として生活している。基本的に学生時代とは、自己決定を免れるモラトリアム期間なのだから、その是非はともかくとして、経済的に自立するタイミングはそのぶん遅れる。経済的自立⇨大人、と考えるなら、成熟の遅れの背景にはこうした事情も考えられる。

もっと抽象的な言い方をすれば、そもそも成熟社会とは、少々ハンディキャップがあっても普通に生きていける社会を意味する。未成熟さがハンディであるとしても、現代はそれがサバイバルにおいて不利にならない時代、ということになる。さらにIT業界やゲーム業界のように、ある種の未成熟さが a 的な価値を帯びる業界もある。あえて成熟するメリットがないとすれば、それを選択しない若者が増えるのは、むしろ当然のことだ。

たとえば「結婚」は、かつての「大人の義務」から「選択」の対象になった時点で、晩婚化、非婚化の風潮が決定的となった。同様に、「成熟」もまた「選択」の対象となった時点で、「未成熟」を選択する人々が増加することは想像に難くない。

ところで日本の場合、もう一点、困った問題がある。それは「大人のイメージ」があまり良くないことだ。

某カード会社のCMに、こんなものがあった。

「大人は恋をしてはいけませんか。／大人は我慢しなくてはいけませんか。／大人は遊んではいけませんか。／大人は夢をみてはいけませんか。／いい大人ですから。」

なかなか練られたコピーではある。「いい大人」という常套句を逆手にとつて、大人ももつと恋をしよう、我慢せず遊ぼう、とそそのかしている、ようにも読める。つまりここには、b 的な日本人が「大人」に対して抱くイメージの一端が現れているとも考えられる。

「もういい大人なんだから」という言葉のあとに続くものを想像してみると、おおむね地に足の付いた、地味でケンジツで我慢強く、慎重で他人に配慮ができる生活者、という「大人像」が浮かんでくる。付き合いやすそうな人ではあるが、それが自分が「なりたい大人」のイメージか、と言われれば果たしてどうだろうか。佐野元春の歌詞ではないが、これでは多くの若者は「つまらない大人にはなりたくない(ガラスのジェネレーション)」と言いたくもなるだろう。

イメージという点で言えば、「大人の男性」の代名詞が「オヤジ」、「大人の女性」のそれが「オバさん」であることも問題だ。いずれもはつきりと負のイメージであり、若者が「そうはなりたくないもの」の筆頭格であろう。逆に言えば、今の日本には「カッコ良い大人」のロールモデルが乏しいのだ。

現実の若者はますます弱者化しつつある反面、イメージとしての若者の価値は依然として高い。むしろイメージに限定して言えば、「若い」はc 的に褒め言葉として用いられるし、女性に至っては「女子」という言葉の汎用性(中高年でも「女子会」や「美魔女」ブームのように、加齢を敵視する視点はますます広がりがつつあるように思われる)。

^B ひとたびカルチャーに目を転ずれば、こちらは完全に「若者」の独擅場だ。マンガやアニメ、ゲームなどのオタク文化(クールジャパン!)は実質的に若者文化だし、ヒットチャートをセツケンする^②のはジャニーズとAKB関係者、映画にしても邦画のターゲットは実質的に若者だ。

すでにマス消費者としての若者層は有効なターゲットの座を高年齢者層にあげわたしているにもかかわらず、依然として消費文

化においては「若者偏重」が続いているのは、なかなか奇妙な風景である。

ここまで自明のことにように「大人」や「若者」と書いてきたが、それでは果たして「大人」とは何だろうか。この問いはつまるところ、「成熟とは何か」という問いと重なる。

大人が第一にクリアすべき条件は「経済的自立」である。さらには「自分自身の言動に責任が取れること」でもある。これは「大人」ととって、社会的な必要条件の最低ラインだ。

心理的条件としてはどんなものがありうるだろうか。僕がいつも念頭においている二つの条件は、「待てる」と「伝える」の二つのスキルだ。

待てるスキルとは、実現したい願望があるとして、その実現を待てるかどうかにかかわるもの。何かを「してほしい」あるいは「やめてほしい」のいずれもここに含まれる。

伝えるスキルとは、単なるコミュニケーション・スキルを意味しない。自分の感情を適切に伝えるスキル、というほどの意味だ。「受け取るスキル」と言わないのは、それが「伝える」の前提に含まれているためもある。伝えるスキルが高い人はほぼ例外なく受け取るスキルも高いのだが、逆は必ずしも成立しない。

心理学的には「アイデンティティ」の確立こそが最優先ではないか、という異論もあるだろう。その概念の重要さを認めるのにやぶさかではないが、基準が曖昧な上に（注1）トートロジーになりやすい（成熟している人はアイデンティティが確立しており、逆もまた真、といった意味で）という問題もあり、ここでは深く立ち入らない。

精神科医・中井久夫は、精神的健康のしるしの一つとして「自分が世界の一部であると同時に世界の中心であると感じられること」を挙げている。かけがえのない固有の存在であると同時に、「ヒトの個体」という匿名性にも開かれた存在である、という認識の両立。こちらも、ほぼ成熟の定義と読み替えて構うまい。

一見矛盾するような、この二つの認識を調停すること。「世界の中心」意識が強すぎると、尊大であったり自己中心的であったり、あるいは「世界の中心であるにもかかわらず」という意識ゆえに自尊感情が低下したりといった「病理」につながりやすい。

いっぽう「世界の一部」意識に傾きすぎれば、他者への依存度が増して共依存的になったり自己のよりどころを失って抑うつ的なったりしやすくなる。

興味深いのは、こうした認識はある種の精神病においても見受けられることだ。統合失調症の「二重見当識」などはこれにあたる。彼は妄想世界では「資産二〇兆円の東京都知事」である。にもかかわらず、看護師に頼まれて、病棟で配膳を手伝ったりする。知事のくせにおかしいではないか、と笑う者は、彼よりも「大人」、とはいえない。これは統合失調症の症状と言うよりは、健康さや成熟度の指標とすら言うのではないか。

「世界の中心」であるにもかかわらず「世界の一部」という認識は、矛盾ではない。その証拠に人はよく、世界の中心でアイを叫ぶではないか。^{〔注3〕}「ここがロドスだ、ここで跳べ！」と鼓舞するではないか。^Dわれわれの「いまここ」の認識そのものに、常にす

に、固有(中心)と普遍(一部)の双方が刻まれているということ。それを事後的に分解したときのみ、矛盾や齟齬が生じるのだ。

この認識から、「成熟」について再検討してみよう。

考えてみれば「待つ」と「伝える」にも同じ矛盾がある。ある異性が気になったとして、タイミングを「待つ」態度と、さりげなく好意を「伝える」態度とでは、どちらが大人の態度なのか。これは成熟よりも性格の問題なので、態度としては甲乙つけがたい。重要なことは、「待つ」と「伝える」にも、「中心」と「一部」の逆説がひそんでいることだ。

「待つ」ことは自己主張を控え、自分の欲望に待ったをかけること。つまり「一部」としての自分に徹することだ。いっぽう「伝える」ことは、自分の欲望を適切に解放すること。「中心」としての自分を尊重する態度だ。

さきほど触れた「**d** 同一性」も同様である。私のアイデンティティはかけがえないものだ。しかし、アイデンティティは万人が持つと想定されている。その意味では、万人の持つアイデンティティ群の中に、私のそれは埋没してしまう。認識とは本来、こうした矛盾とともに生成してくるものではなかったか。

矛盾を調停してくれるのは常に「対話(ダイアログ)」である。矛盾やグレーゾーンを受け入れず、どこまでも理詰めで進行する考えは「独語(モノログ)」でしかない。未成熟さに留まるといふことは、しばしばモノログに留まるとを意味するのだ。

う。それは何らかの創造的契機をもたらす場合もあるが、しばしば不安定さや病理に結実してしまう危険も抱え込む。

以上をふまえて僕はこう考えるに至った。大人とは、自分自身の抱えた矛盾と「対話」できる存在である。そうした対話を通じて、彼は意志的に「変化」してゆくことができる(子どもの変化は常に非意志的な「成長」として起こる)。それが「日本人にとっての大人」イメージに一致するかどうかはわからない。重要なことは、「大人」という言葉を価値観の伝達のために使わないことだ。

固定的な大人のイメージから離れて、動態としての「大人」について考えること。「対話」と「変化」は、そのためのキーワードとして、それなりに有効なものでありうると僕は考えている。

(斎藤環「日本人のイメージする大人」による)

〈注1〉 トートロジー——同語反復、類語反復。同じことを表す言葉の無用な繰り返し。

〈注2〉 世界の中心でアイを叫ぶ——二〇〇一年に刊行された片山恭一の青春恋愛小説『世界の中心で愛を叫ぶ』を念頭に置いた表現。この小説は、二〇〇四年に映画化され、その後ドラマ化・舞台化された。

〈注3〉 「ここがロドスだ、ここで跳べー!」——『イソップ物語』中の寓話。ほら吹きが「俺はロドス島で非常に高い跳躍をしたんだぞ。証人もいっばいいるぞ」という内容の自慢をしたところ、聞いていた人が「もしそれがほんとうなら、証人なんかいない。ここがロドスだ。(そう思っただけで跳んでみる。)」といった。

問一 傍線部①②のカタカナの部分に漢字に改めよ。

問二 傍線部A「大人になれない個人が増える」とあるが、この場合の「大人」とはどのような存在か。最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 夢や理想を失い、ただ愚直にひたすら日常を過ごすだけの存在
- 2 あえて未成熟を選ぶことで、モラトリアムの状態に留まる存在
- 3 若さを追求しつつ、「カッコ良い大人」のロールモデルを演じる存在
- 4 経済的に自立すると同時に、自分自身の言動に対して責任が取れる存在
- 5 アイデンティティを最優先し、明確に若者とは一線を画す成熟した存在

問三 空欄

a

〜

c

に入る言葉として最も適切な組み合わせを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマーク

せよ。

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|
| 1 | a | 積極 | b | 平均 | c | 圧倒 |
| 2 | a | 圧倒 | b | 積極 | c | 平均 |
| 3 | a | 平均 | b | 圧倒 | c | 積極 |
| 4 | a | 平均 | b | 積極 | c | 圧倒 |
| 5 | a | 積極 | b | 圧倒 | c | 平均 |

問四 傍線部B「ひとたびカルチャーに目を転ずれば、こちらは完全に『若者』の独擅場だ」とあるが、その説明として最も適切な

ものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 高齢者層の多くは年金のみで生活せざるを得ず、文化活動に支出する金銭的な余裕がほとんどない。
- 2 クールジャパンという今日の文化は実質的に若者特有の文化であり、大人はまったく介入できない。
- 3 若者層は、消費する金額こそ高齢者層に劣るが、彼らの存在を軸として消費文化が展開されている。
- 4 現在、マス消費者としてのターゲットは高齢者層であるものの、マーケットは若者が独占している。
- 5 イメージとしての若者の価値は高く、高齢者層も若者の消費スタイルをまねるようになりつつある。

問五 傍線部C「伝えるスキルが高い人はほぼ例外なく受け取るスキルも高いのだが、逆は必ずしも成立しない」とあるが、それ

が意味する内容として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 伝えるスキルと受け取るスキルは等価であり、個々人の成長のプロセスにおいてほぼ同時に修得されるものである。
- 2 感情を伝えるスキルはコミュニケーション・スキルといえるが、受け取るスキルは必ずしもそうとはいえない。
- 3 「待てる」と「伝える」ことは成熟した大人の証であるが、「受け取る」スキルは大人の証とは考えられない。
- 4 相手の感情の機微を十分に汲み取るスキルのない者は、自分の感情を適切に伝えることが極めて困難である。
- 5 伝えるスキルと受け取るスキルは密接な関係にあり、後者の能力は前者の能力を身に付けないと意味をなさない。

問六 傍線部D「われわれの『いまここ』の認識そのものに、常にすでに、固有(中心)と普遍(一部)の双方が刻まれている」とあるが、それが意味する内容として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

1 私たちは、「いまここ」での認識において、自分をたった一人の存在であると感じると同時に、世界の中の一人でもあると感じている。

2 私たちは、「いまここ」での認識において、自分たちが永続する存在であると感じると同時に、一時的な存在でもあると感じている。

3 私たちは、「いまここ」での認識において、「いまここ」という場が、具体的な場であると同時に抽象的な場でもあると認識している。

4 私たちは、「いまここ」での認識において、世界の中心であると同時に、世界の周縁でもある状況が入り混じっていると感している。

5 私たちは、「いまここ」での認識において、「いまここ」という場を感情的に認識すると同時に、ある面では個別的にも認識している。

問七 空欄 d に入る語を本文中より抜き出して記せ。

問八 傍線部E「動態としての『大人』とはどのような存在か。本文中の語句を用い、三十六字〜四十字(句読点も一字と数える)で記せ。

(二) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

たとえば、風評被害について考えてみたい。風評被害は不確かで誤った情報に基づいた人びとの行動によって生じるものであり、特定の加害者が考えにくく、大勢の人びとが関係することから、うわさに基づく被害だと捉えられていることが多い。しかし、次のようなケースだとどうであろうか。

東日本大震災後の一、二カ月の時点としよう。

——東北地方の取引先が被災しているかどうか情報がない。電話をすると迷惑かもしれないので、やめておこう。ただ、報道からすると、東北地方のインフラは復旧していないようだから、とりあえず注文はほかの取引先にしておこう——。

こういった判断をする企業が増えれば、被災していない多くの企業の経営が厳しくなるのは当然であり、風評被害へとつながる。このような個人的な推測がきっかけとなる風評被害はうわさとは関係がないし、東北地方の取引先をむやみに危険視したのでもない。報道などから得た情報をもとに個人が合理的に推測し、行った判断が的外れであっただけである。

あるいは、東京電力福島第一原子力発電所の事故収束のめどが立たないなか、「日本」そのものが漠然と風評被害の対象となり、日本の製品や日本への観光旅行が敬遠されているという場合、その原因は個人が語るうわさにあるというよりも、第一に日本政府の公式発表であり、それを伝えるマスメディアにあるのではないか。

風評被害は実際にはうわさから生じているわけでも「不確かで誤った情報」から生じているわけでもない。政府の公式発表やマスメディアの報道はもちろん、インターネット上の情報、個人的に聞いたうわさや口コミ情報、さらには、個人の知識や信念などを含めたあらゆる情報に基づいて個人が採用する「aな行動」が引き起こす予期せぬ結果が風評被害なのである。

防災情報論を専門とする関谷直也は、風評被害とは「ある社会問題(事件・事故・環境汚染・災害・不況)が報道されることによって、本来『安全』とされるもの(食品・商品・土地・企業)を人々が危険視し、消費、観光、取引をやめることなどによって引き起こされる経済的被害のこと」(『風評被害』)と定義し、風評被害のきっかけは報道であるとす。

関谷による風評被害の定義を少し入れ替え、逆の現象、「あることが報道されることによって、人びとの間で人気が高まり、消費、観光、取引が活発化することで引き起こされる経済的利益」というものを考えてみよう。マスメディアで情報を流したところ、それがよい口コミを呼び、人気を集めたというケースだ。名づけるならば、「風評利益」だが、この場合「上手なPR」「マーケティングの成功」あるいは、「**b**」などと呼ばれ、問題視されることはなく、むしろ、歓迎されるはずだ。

ちなみに、経済史を専門とする鈴木浩三は江戸時代の風評被害を論じるなかで、「御利益」の浮説や虚説が広がることで神社仏閣や門前町に利益をもたらしたことを「風評利益」として紹介している(『江戸の風評被害』)。

当たり前ではあるが、「利益をもたらす風評」は歓迎され、「被害をもたらす風評」は問題視される。「利益をもたらす風評」の原因が「上手なPR」「マーケティングの成功」として送り手側に帰せられるのであれば、「被害をもたらす風評」も第一に送り手側の問題として検討すべきであろう。「被害をもたらす風評」におけるうわさの役割は「利益をもたらす風評」における口コミの役割に相当するはずである。風評被害とは、第一に政府や自治体など公的機関の公式発表やマスメディアなど制度的な情報チャンネルの問題であり、その上で、第二として人びとのあいだで広がるうわさの問題と捉えるべきであるのだ。

実際、風評被害が生じるのは、先のケースのように、必要な情報が手に入らない場合だけではない。情報が十分ある場合でも、政府など公的機関が情報を隠しているのではないかという不信感、公的な発表では本心に知りたい情報が得られないという不安感から、人びとは政府の公式発表やマスメディアの報道を鵜呑みにせずに、自分なりに情報収集し、情報を発信する。

たとえば、食品の安全性について考えてみよう。問題なのは、「安全な食品」と「安全ではない食品」の区分ではない。「安全な食品」として流通する食品が「安全だと感じられる食品」と「安全だとは感じられない食品」に区分できると人びとに感じられていることが問題なのである。

その区分は、公的機関の公式発表やマスメディアの情報などあらゆる情報をもとに、自分なりに推測し、なされるものである。そして、選択ができるのであれば、「合理的」に前者、すなわち「安全だと感じられる食品」を選択する。このように推測し、判断する人びとに、政府やマスメディアが数値を示して安全性を強調してもあまり効果は期待できない。うわさを消そうと「事

実」をもって否定するのと同じだからである。数値で示されても、「政府の発表は信頼できない」「ゼロでないなら、危険性はあ
る」「測定方法に問題があるのではないか」といった別の推測につながるだけである。

だとすると、何よりも大切なことは、人びとが政府の公式発表やマスメディアの報道に対して信頼感を持てるようにすること
である。言うまでもなく、信頼感の獲得は非常に困難であり、簡単な処方箋はない。まずは、公的機関や関係諸機関、マスメデ
ィアが正確な情報を必要に応じて、十分提供することであろう。これが何よりも重要である。

一人ひとりの私たちにできることは、まずは風評被害のメカニズムについて知ることである。風評被害は、ありもしないこと
に惑わされているから起こるのでも、差別意識を持つ人が不確かな情報に踊らされているから起こるのでもない。多くの人が自
分の手元にある情報から合理的に行動したことから生じる現象であることを理解し、^B風評被害が自分とは無関係であると思わな
いことが重要だ。うわさ対策と同じである。

フランスのオルレアン地方で女性誘拐のうわさが広まった際に調査したエドガール・モランは、対抗神話の有効性を強調して
いる。「誘拐事件は起こっていない」という事実の公表では消えなかったうわさが、「このうわさは反ユダヤのうわさである」との
^C「対抗神話」が広まったことにより急速に収束に向かったのである。

ならば、証拠を示したり、検証を行ったりできるような「事実」とは別の次元にあって、人びとが行う推測や解釈、判断に影響
を与える「対抗神話」も風評被害対策として効果的であろう。ただし、残念ながら、何が「対抗神話」となり得るのか、私自身、答
えを持っているわけではない。また、公的機関などが「対抗神話」を作り出すことは、効果的ではない。事態を隠そうと
していると思われるだけだからだ。

福島第一原子力発電所事故がもたらした風評被害については、被害に心を痛め、わざわざインターネットで野菜を注文、購入
したり、あえて観光に行ったりするという話を聞く。そういう話から一つ浮かぶのは、途上国を支援するフェアトレード運動
のように、風評被害に苦しむ人びとを継続的に支援するために、選択ができる場合は「あえて」風評被害地を選択しようという運
動であり、それを可能にする、^D市場とは別の論理に基づく産品流通システムの構築だろう。もちろん、これまでに一般には知られ

ていなかた企業を、個別に応援できるような仕組みもよいだろう。あるいは、市町村単位でも、より小さな単位でもいい。特定の地域のサポーターになり、被害地を継続的に応援するのはどうだろうか。

阪神・淡路大震災は、ボランティアが根付かないと言われてきた日本社会のありようを変える大ききっかけとなった。同様に、東日本大震災をきっかけに、従来はなかつた社会的な取り組みが定着する可能性は大いにあるはずである。

(松田美佐『うわさとは何か』による)

問一 傍線部A「報道などから得た情報をもとに個人が合理的に推測し、行った判断が的外れであつた」とあるが、その説明として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 個人の拙速な判断は風評被害を招くことがある、ということをもつたく考えていなかった。
- 2 震災後数ヶ月もすれば取引先も復興している可能性があるのに、それを考えていなかった。
- 3 広範な情報を収集する努力をせずに、限られた情報だけをもとに決定してしまつていた。
- 4 実際には相手が被災していなかったのに、被災したことを前提に注文を他へ回してしまつた。
- 5 あらゆる方法を尽くして、相手の状況を把握するといった最も基本的なことをしていなかった。

問二 空欄

a

に入る言葉として最も適切なものを本文中から抜き出して記せ。

問三 空欄 b に入る言葉として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 情報操作の結果
- 2 予想外の宣伝効果
- 3 活発なる経済行為
- 4 マスメディア的発想
- 5 計算通りのCMの成功

問四 傍線部B「風評被害が自分とは無関係であると思わないことが重要だ」とあるが、その理由として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 風評の形成過程に自分たちも負担している事実を知らずにいては、風評の被害を抑止することが難しくなるから。
- 2 風評の被害は常に自分たちにも及ぶものであるため、そのことを無視しては全容の把握が十分になされないから。
- 3 風評は、常に自分のすぐ手元にある情報から生じがちなものであり、灯台もと暗しでは済まされない問題だから。
- 4 風評に関わっているのはマスメディアの情報を用意に信じる自分たちであり、その責任も自分たちにあるから。
- 5 風評のメカニズムを解明するには、差別意識を持つことなく、自分たちすべての行動を正確に把握すべきだから。

問五 傍線部C「対抗神話」に関する説明として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

1 風評被害を最小限に抑えるには、人々に直接関係のある情報と同時に、うわさの根源を絶つための間接的判断材料を意図的に流すべきである。

2 うわさは人々が手元の情報に基づいて判断することによって生まれるのだから、その判断に影響を与える情報が広まればうわさは沈静化する。

3 ある程度以上に流布するうわさの根底には送り手の不安があるのだから、人々の安全を保障する情報を計画的に拡散させることが効果的である。

4 うわさにも風評被害にも、その社会状況を反映した物語が潜んでいるため、それを呑み込むような規模の大きな神話を広めることが有効である。

5 出所の曖昧な風評による被害を防ぐためには、そういった風評を作り話と考え、あえてそれとは無関係なもう一つの作り話を広める必要がある。

問六 傍線部D「市場とは別の論理」とあるが、そうした論理の具体例として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

1 やがて爆発的に売れると見込んで、他社に先駆けて流通を拡大していく。

2 商品の供給が止まったときに備えて、ある程度の在庫数を確保していく。

3 商品の良さ、安全性を十分に説明することで、顧客の数を増やしていく。

4 まずは何よりも、格安の値段を設定することで、販売数を伸ばしていく。

5 消費者に社会的公正さを訴え、理解を得ることで、購買層を広げていく。

問七 本文中の「風評被害」の具体例として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 ある病院で手術後の院内感染による死亡事故が一件あっただけでたちまち口コミでそのうわさが広まり、またたく間に来院患者数は激減していった。
- 2 震災の被災地に実際に何度も足を運び、その被害の甚大性を写真と共にSNSで報告したところ、当地への旅行を取りやめるといふ友人が続出した。
- 3 数年前に津波で大きな被害を受けた観光地のニュースは世界中に伝わり来訪者が激減したが、復興した現在でも元の旅行者数までには回復していない。
- 4 テレビや雑誌、あるいは友人の話でおいしいと評判のレストランへ行ってみたが、うわさのせいでやたらと混んでいるためにサーブिसも悪く、おいしくもなかった。
- 5 かつてのオイルショックの際には、トイレットペーパーがなくなるといいうわさが広まるだけでなく、買いためする人が続出したために実際に品不足を招くこととなった。

(三)

次の文章は阿仏尼の書いた「うたたね」の一節である。失恋を理由に出家した作者は、かつて恋人であつた男を忘れられずにいた。これを読み、後の問に答えよ。

「おのづから事のついでに」^Aなどばかり、おどろかし聞こえたるにも、「世のわづらはしさに、思ひながらのみなん、さるべきついでもなく、みづから聞こえさせず」^Bなど、なほざりに書き捨てられたるもいと心憂くて、

消え果てん煙の後の雲をだによも眺め a な人目もるとて

と覚ゆれど、心の中ばかりにてくたし果てぬるは、いと甲斐なしや。

そのころ、心地例ならぬことありて、命も危ふきほどなるを、ここながらともかくもなりなばわづらはしかるべければ、思ひかけぬ便りにて、^(注1)愛宕の近き所にて、はかなき宿り求め出でて、移ろひなんとす。かくとだに聞こえさせまほしけれど、問はず

語りもあやしくて、泣く泣く門を引き出づる折しも、先に立ちたる車あり。前華^(注2)やかに追ひて、御前などことごとく見ゆるを、誰ばかりにかと目留めたりければ、かの人知れず恨み聞こゆる人なりけり。顔しるきズイジン^(注3)など、紛ふべうもあらねば、

^Cかくとは思し寄らざらめど、そぞろに車の中はづかしくはしたなき心地しながら、今一度それとばかりも見送り聞こゆるは、いとうれしくもあはれにも、さまざま胸静かならず。つゝに、こなたかなたへ行き別れ給ふほど、いといたう顧みがちに心細し。

かの所に行き着きたれば、かねて聞きつるよりも、あやしくはかなげなる所のさまなれば、いかにして耐へ忍ぶべくもあらず。暮れ果つる空の気色も、日ごろに越えて心細く悲し。宵居すべき友もなければ、あやしく敷きも定めぬ十符^(注2)の菅菰に、ただ

一人うち臥したれど、解けてしも寝られず。

はかなしな短き夜半の b 結ぶともなきうたたねの夢

日ごろ経れど、訪ひ来る人もなく心細きままに、^(注3)経つと手に持ちたるばかりぞ、頼もしき友なりける。「世皆不牢固」とある所を、強ひて思ひ続けてぞ、^D憂き世の夢も自ら思ひ醒ますたよりなりける。

〔注1〕 愛宕をたぎ——山城国やましろ（現在の京都府）愛宕郡内の郷名。

〔注2〕 十符とふの菅すが孤こ——菅で編んだ粗末な筵むしろ。編み目が十筋ある。

〔注3〕 世せ皆か不ふ牢らう固こ——「法華經」の一節。「世は皆、牢固ならざるごと水のしぶき・泡・かげろふのごとし」と続き、世の無常を表す。

問一 傍線部①のカタカナの部分漢字に改めよ。

問二 傍線部A「おどろかし聞こえたるにも」の意味として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 親切にご注意申し上げたところ
- 2 親切に起こしてさしあげたところ
- 3 思いがけずお便り申し上げたところ
- 4 はっとする内容がうわさされるにつけて
- 5 突然訪問することがうわさされるにつけて

問三 空欄 a に入る一字を記せ。

問四 傍線部B「かくとだに聞こえさせまほしけれど」を、「かく」の内容を明らかにした上で現代語訳せよ。

問五 傍線部C「かくとは思し寄らざらめど」の説明として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 かつての恋人は自分がここにいるとは思っても寄らないだろうが
- 2 一行の従者達は自分が隠れているとは思っても寄らないだろうが
- 3 自分が見知らぬ人々に声をかけるとは思っても寄らないだろうが
- 4 自分は見知った人々に声をかけようとは思っても寄らないけれども
- 5 自分は目の前にいる一行が人違いだとは思っても寄らないけれども

問六 空欄 b に入る語として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 氷水
- 2 尼衣
- 3 時鳥
- 4 涙川
- 5 草枕

問七 傍線部D「憂き世の夢も自ら思ひ醒ますたより」を言い換えた語句として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 かの人知れず恨み聞こゆる人
- 2 宵居すべき友
- 3 十符の菅菰
- 4 訪ひ来る人
- 5 頼もしき友

問八 本文の内容に合致しているものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 作者は誠意のないかつての恋人に、歌を送って心を慰めた。
- 2 作者は病気を治すため、縁者を頼って愛宕近くの宿所へ移った。
- 3 作者は移動の際、偶然かつての恋人と遭遇し車中で密かに見送った。
- 4 作者は移動先の宿が聞いていたより粗末でも、大して気にならなかった。
- 5 作者はかつての恋人と復縁することを期待して、仏道修行に励んでいた。

問九 「うたたね」と同時代の作品を次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 源氏物語
- 2 方丈記
- 3 更級日記
- 4 玉勝間
- 5 笈の小文